

物件設置（撤去）許可申請の手引き

【1】物件設置許可（撤去）申請について

公共汚水樹の増設、移設、撤去、改良等の行為の許可を受けようとする者は申請が必要です。
また、これらの行為に係る費用は、すべて自己負担となります。

【2】申請手続

1. 申請書の作成

- 1) 提出部数 : 1部
- 2) 添付書類 *物件設置内容等により次の書類を添付する。
 - ① 位置図（案内図）：申請箇所を赤で明記（方位、目印となる施設等を記入 *縮尺は任意）。
 - ② 平面図：物件の位置、寸法、部材名、境界からの距離などを明記。
 - ③ 横断図：物件の位置、寸法、部材名、境界からの距離などを明記。
 - ④ 縦断図：本管を施工する場合は作成。
 - ⑤ 構造図：割込マンホール、副管、公共汚水樹など、必要な図面を作成。
 - ⑥ 舗装復旧図：仮復旧、本復旧の範囲、寸法がわかるように平面図及び断面図を作成。舗装構成等は、道路管理者と協議すること。
 - ⑦ 現況写真：申請箇所が確認できる写真を添付（申請に伴う道路仮復旧、本復旧の範囲、寸法を明記）。
 - ⑧ 同意書：他人の土地を利用し公共樹などの排水施設を設置する場合に必要。*事前に確認のこと。
 - ⑨ 材料承認：本管設置の場合、または特殊材料を使用する場合に添付（公樹設置のみの場合は不要）
- ※ 事業計画区域外から流入させる場合は、「区域外下水道放流許可申請書」の提出が必要となる。
- ⑩ 取付管撤去については、支管をキャップ止めし、コンクリート防護360巻とすること。【別添工法図】

2. 許可書の交付

- 1) 物件設置(撤去)許可が決定次第、許可書を交付する。
- 2) 物件設置(撤去)許可及び許可の条件を遵守するよう工事担当者に周知徹底すること。
- 3) 申請内容に変更が生じる場合は、速やかに協議すること。

3. 工事着工届

- 1) 道路占用（使用）申請は許可決定まで日数を要するので、余裕をもって道路管理者に申請すること。

4. 工事完了届検査

- 1) 工事完了後は、工事完了届と完成図書等を提出。検査により手直しを指摘された場合は、速やかに是正方法を協議し手直し工事を実施のうえ再検査を受けること。

[完成図書]

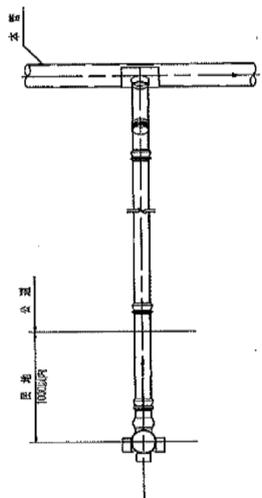
- ・物件設置完了届
 - ・写真（着手前～各工種毎施工状況～完成）【別添 施工写真撮影要領を参照】
 - ・完成図面（計画に対する出来形の数値を赤字で記入）※スケール等により出来形を確認できるようにすること。
- 2) 工事完了届は、舗装本復旧完了後に提出すること。
 - 3) 開発行為の場合は、開発本体の検査時もしくはその前後に実施するので、事前に完成図書を提出のうえ日時を確認すること。

【施工写真撮影要領】

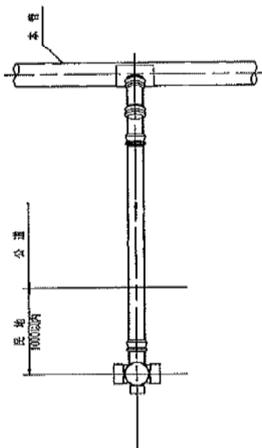
	工種	項目	撮影内容	撮影箇所	留意事項
一般	現場状況	着手前	全景または部分	スパン中央部 1箇所または 箇所ごと	同一方向から撮影すること
		完成後	全景または部分 仮復旧、本復旧		
管渠工 (開削)	土工	掘削	掘削状況(幅、深さ)	スパン中央部 1箇所または 箇所ごと 箇所ごと	埋戻し厚は各層20cm以内とすること (※県占用は15cm以内)
		埋戻	各層ごとの埋戻し状況、転圧状況		
		構造物下	埋戻し、転圧状況等		
	基礎工	状況	基礎の幅、厚さ	スパン中央部	管まわりの突き固め
	布設工	布設状況	布設後	1箇所または 箇所ごと	
マンホール設置工	土工	掘削	掘削状況(幅、深さ)	箇所ごと 構造物下の埋戻し、転圧状況等は全箇所	埋戻し厚は各層20cm以内とすること (※県占用は15cm以内)
		埋戻	各層ごとの埋め戻し状況、転圧		
	基礎工	状況	基礎の幅、厚さ	箇所ごと	
	据付工	据付状況	据付後	箇所ごと	鉄蓋設置状況
汚水枿及び取付管工	土工	掘削	掘削状況(幅、深さ) 人力掘削部状況	箇所ごと 構造物下の埋戻し、転圧状況等は全箇所	埋戻し厚は各層20cm以内とすること (※県占用は15cm以内)
		埋戻	各層ごとの埋戻し状況、転圧状況 川砂水締状況		
	基礎工	状況	基礎の幅、厚さ	箇所ごと	
	据付工	据付状況	本管削孔状況 据付後 汚水枿の深さ	箇所ごと	防護蓋がある場合は据付後
仮設工	土留工	設置撤去	設置状況 撤去状況	適宜	
	保安状況	状況	看板設置状況 交通誘導員配置状況	適宜	
路盤工	路盤工	施工管理	施工状況 各層転圧状況 厚さ管理 面積管理	スパン中央部 1箇所または 箇所ごと	施工厚は各層15cm以内とすること
舗装復旧工	仮復旧工	施工管理	施工状況 乳剤散布状況 同完了状況 転圧状況 厚さ管理 面積管理	スパン中央部 1箇所または 箇所ごと	施工厚は歩道が3cm、車道が5cmとする
	本復旧工	施工管理	施工状況 乳剤散布状況 同完了状況 転圧状況 厚さ管理 面積管理	スパン中央部 1箇所または 箇所ごと	道路占用条件を遵守した写真管理 県道歩道部は5cmとなる場合があるため注意

汚水樹及び取付管構造図 縮尺 1:10

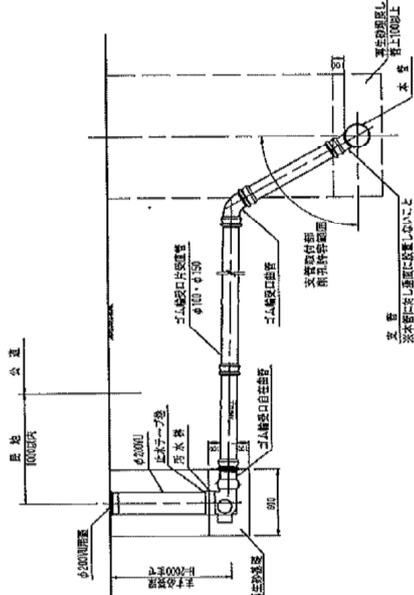
横型
平面図



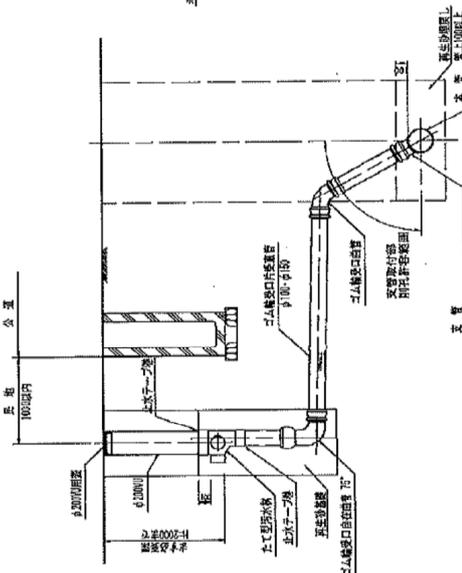
縦型
平面図



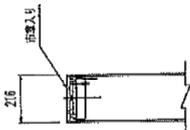
断面図



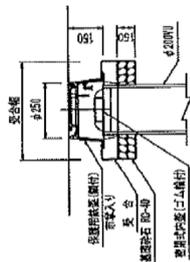
断面図



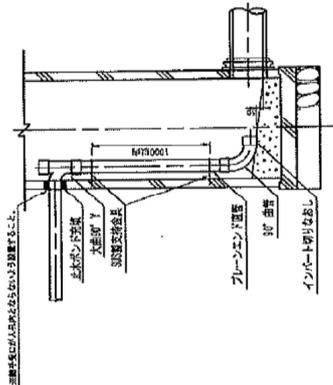
塩ビ製蓋 縮尺 1:10



保護用鉄蓋 縮尺 1:10

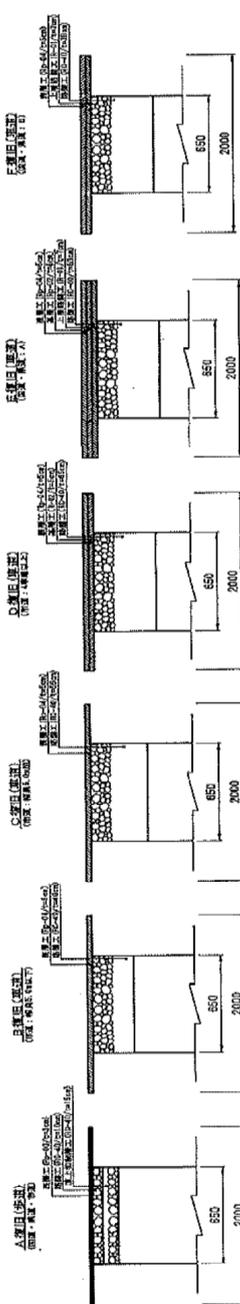


内副管詳細 縮尺 1:20
(挿取付管の場合のみ)



舗装復旧図 縮尺 1:20

現況汚水利用の場合は汚水管の設置のみを施工すること。



※留意事項※

- ・まず設置位置は管長尺から1m以内とすること。
- ・接続継手を用いる場合は止水テープ巻きとすること。
- ・掘削深が1.5mを超える場合は土留を施工すること。

専業主産	今村 洋
工事名	別荘敷地及び付帯施設
図面名称	汚水樹及び取付管構造図
工事箇所	市田 高
縮尺	1:20
図面番号	洋中-乙

取付管撤去標準工法図

